

司書

県立図書館 資料情報サービス部
令和6年度採用

わたしを表すKEYWORD

美術館

図書館はもちろん、美術館や博物館に行くことが大好きです。

県立図書館と県立美術館が隣接しているので、企画展やイベントがあるとワクワクしています。

新幹線通勤

私を含め、新幹線通勤をしている職員も多いです。

日本で3番目の大きさを誇る福島県だからその通勤手段だと思います。

積読

猫派

健康第一

私は

新しいこと

が好き!



目の前の本を100年後の利用者へ

私は一般資料チームに所属し、寄贈に関する業務を担当しています。加えて、カウンターでの貸し出しや、調べ物に関する相談を伺うレファレンスサービスなど、日々利用者の方と関わりながら業務にあたっています。探していた本や資料が見つかったと、利用者の方の顔がぱっと明るくなるので、私もその瞬間を目指して仕事に励んでいます。

県職員を目指した理由

東日本大震災をはじめ、頻発する豪雨災害など様々な要因で地域の文化や伝統が失われることに胸を痛めていました。県立図書館の資料は原則永年保管されるため、生まれ育った福島の文化を未来につないでいきたいと思い志望しました。

職場の雰囲気について

チームの垣根をこえて業務にあたっており、業務についてわからないことがあれば、気兼ねなく質問をすることができます。

それぞれのチームがそれぞれの資料のスペシャリストなので、何気ない会話からも日々学ぶことが多いです。



とある一日のスケジュール

● 9:00 始業
郵便物の開封
寄贈資料の受付

● 12:00 昼休み

● 13:00 カウンターでの貸出業務
電話対応
返本業務

● 17:45 終業

※遅番の日は10:30始業、19:15終業になります。

仕事の覚え方



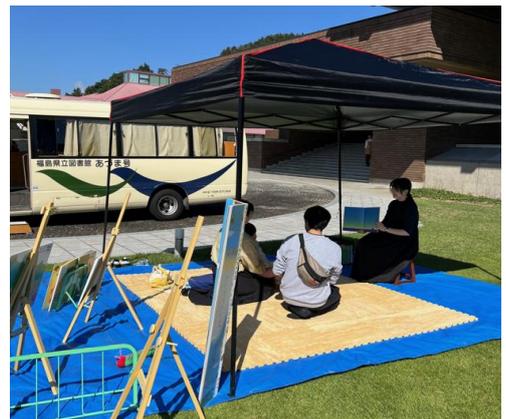
少しでも自信がないときには、まずマニュアルを見る・先輩方に確認することを心がけています。

同じ場面で同じ間違いをしないように、マニュアルに書き込んだり、メモをとるなどして対策をしています。

この1年間で、印象に残った経験

イベントでの読み聞かせです。県立図書館では、図書館の活動や所蔵する資料について広く知ってもらうために、書庫の見学や講演会といったイベントを定期的に行っています。

普段の業務では子どもたちに接する機会は少ないのですが、真剣にお話を聞いてくれる姿に、読み手の私も熱が入りました。



↑ イベントで読み聞かせをする様子

福島県職員として実現したいこと、目標としていること

場所や年齢を問わず、どんな方にもお求めの資料や情報にたどり着くためのサポートができるようになりたいです。

今日来館される利用者の方から、ずっと先の未来で来館される利用者の方まで、県立図書館が皆さんに求められる存在であり続けたいと願っています。